学校だより「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～

平成３０年１２月２１日（金）発行　№３５　　文責　塩川小学校長　佐藤

二学期間のご支援とご協力に、感謝申し上げます。

今日で８１日あった二学期が終了しました。猛暑による渇水対策のため、水泳記録会が中止となるなど波乱!?のスタートとなりましたが、その後は、行事や日々の授業を計画通り実施でき、大きな成果を残して終了することができました。

今学期は、「目標を持ってやり遂げる力」を高めることが最重点でしたが、子ども達は、目標の持ち方や達成できなかったときのモチベーションの維持の仕方などを学ぶとともに、達成することの喜びを実感しながら、「目標を持つ」ことや、「やり遂げる」ことの大切さを学びました。そのことにより、自己効力感（やれる気）や自己啓発の力（向上心）が高まりました。

これらの成果は、偏に、保護者・地域の皆さまのご支援ご協力の賜と感謝申し上げます。ありがとうございました。よいお年をお迎えください。

二学期の反省を立派に発表しました。称賛の拍手が鳴り止みませんでした。

入賞、おめでとうございます。

◎喜多方市米消費拡大推進ﾎﾟｽﾀｰｺﾝｸｰﾙ「佳作」　五十嵐奏汰（３年）
◎喜多方市緑化推進ﾎﾟｽﾀｰｺﾝｸｰﾙ「優秀賞」
　荒川ももか（１年）　大堀　鉄生（４年）
◎鉄道絵画コンクールﾏｳﾝﾄ部門下学年の部「佳作」　齊藤　遙希（３年）
◎第３２回福島県小学校児童画展「入賞」　只木　恭実（５年）
◎第４７回 JA 共済福島県小・中学生交通安全ﾎﾟｽﾀｰｺﾝｸｰﾙ「奨励賞」
　石川　藤丸（２年）　山口　美空（３年）

先生方もがんばっています。

●第４７回福島県教職員研究論文「奨励賞」　喜多方市立塩川小学校

減災教育を受けました。

５年生を対象に、東北大学の保田先生による「減災教育」が行われました。

子ども達は、「防災・減災スタンプラリー」に取り組みながら、自分の緊急時の行動について考えました。自助（自分を助ける行動）、互助（助け合う行動）、公助（公的な支援）の３つの行動があることや、自分の行動パターンについて気づくことができました。

スタンプラリーをしながら、災害から身を守る方法を考えました。

100周、200周、300周のマラソン認定証をいただきました。

はがきの書き方を学びました。

３年生を対象に、喜多方中央ﾛｰﾀｰｸﾗﾌﾞの皆さまによる「はがきの書き方教室」が開催されました。

子ども達は、郵便番号があることや、決まった書き方があることを学びました。差出人は、おじいちゃん、おばあちゃん、お友達など思い思いに決めて、文をしたためていました。

塩川郵便局長さまのご指導をいただいて、はがきを書きました。

フッ化物洗口の練習をしました。
１分間、右、左真ん中でクチュクチュします。

ちょっといい話

登校途中、二人の5年生が、道路に捨てられていた空き缶を拾ってきました。

どんな経緯で拾うことになったのかは聞きませんでしたが、私は、「時期」に関係しているのかと思いました。つまり、二人は、まもなく塩小のリーダーとなる時期が来ることを感じており、無意識に空き缶を拾ったのだと思います。塩小のリーダーとしてのあるべき姿を、下級生に示そうとしたのだと思います。

三学期は、そんな5年生の姿がたくさん見られるのかと嬉しくなりました。